



## 初の「歯科関係の本」を出版してみました！

私たちの歯科医院にも以前からホームページが有ります。(創刊号1999年12月～) 検索エンジンなどで、「東正歯科医院」、もしくは「とうせい歯科医院」と検索して頂くと、ヒットしてくるでしょう。当歯科医院のホームページの中には「かむかむ」と言うコンテンツがあります。当時から歯科に関わる情報発信をしていました。いろいろな歯科の項目について解説的に歯科情報を書いてきましたが、その中に「ブラキシズム」【2001年4月～】と言う項目が有りますが、情報量が多いために、その後、そして、継続的にこの内容を、時々発信(194号ブラキシズム(8)2017年2月まで)していました。その後は、この情報を8ページまとめて、日常診療中に患者さんの治療の説明用として渡してきていたりしました。

コロナ禍での一昨年、このコンテンツについて、ある出版社さんからのダイレクトメールにより、日常臨床では、まだまだ知られていないこのブラキシズム(歯ぎしり、食いしばり、タッピング、噛みしめなどの総称)について情報発信として本を出版しませんか? とのお誘いを受けました。

はじめは、半信半疑ですし、昨今のいろいろな誘いからの出資詐欺的な情報も有りましたので、どうしようか?迷っていましたが、担当者さんの熱心な説明と、その出版社さんが今までに出版した歯科医師の方々の出版本をサンプルとして何冊も送ってきて頂き、出版することで、広く認識してもらえます。とのことでした。ブラキシズムに取り組んで20年以上が経過しましたが、日常臨床では、なかなか理解してもらえない歯科治療上の問題を少しでも解消できるならば、やってみようと思ってお話が始まりました。それからは、不慣れた物書きが始まり、今までのホームページの内容や、過去の診療室での実話を元に日記的に原稿を書いて、年が明けて3ヶ月後に原稿を送ると、担当者さんからは「内容的にはなかなかおもしろいのではないか?」とお返事を頂きました。(お上手に乗せられたのでしょうか?)そして、編集者さんをご紹介頂き、契約書を交わしまして実行という運びになりました。

その後、現地(私の診療所のところ)まで編集者さんたちが、インタビューと取材に来て頂き、実際に歯科診療に使用している説明用資料やスプリントのサンプルなどを見せて治療の流れや記録を、個人情報伏せてお話ししました。(つづく)